

## 「インフルエンザ」

普通の風邪との違いは、症状がひどくなることです。突然の寒気と高熱、全身倦怠感などで発症し、頭痛、筋肉痛、腹痛、嘔吐、下痢、咽頭痛、鼻汁、咳などの症状が出ます。発熱期間は2～4日です。時に1日おいて発熱することがありますが、この場合でも通常1～2日で熱は下がります。それ以上続く時は合併症を疑います。

**潜伏期間：1～3日**

### インフルエンザ迅速診断

鼻のぬぐい液から検査をして、15分程度で結果が出ます。ただし、発熱早期の検査では結果が陰性になることもありますので、12時間経ってからの検査をお奨めします。



### 治療

- もともと元気なお子様がかかれた場合は、数日安静にしていることで自力で治すことができます。抗インフルエンザ薬が登場するまでは、皆安静にして治していました。
- 咳や鼻汁、腹痛、嘔吐などの症状には、それぞれの対症薬を使います。
- 発熱によって水分摂取が出来ず、眠れない場合のみ熱冷ましの薬を飲ませます。熱冷ましの薬の種類によっては脳炎や脳症との関係が疑われています。子どもにはアセトアミノフェンが一番安全といわれています。
- 抗生物質の効果はありません。
- インフルエンザ治療薬（タミフル、リレンザ）は、発病して48時間以内に使用すれば、症状が1～2日短縮しますが、それ以後に開始しても効果はあまりありません。
- 症状が悪化したり、別の症状が出現したら、薬があっても受診してください。

### タミフルについて

タミフルの初回の服薬数時間後に、突然死やベランダから飛び降りる、家から飛び出すなどの異常行動が観察されたとの報告がされています。注意して見守って下さい。

薬の効果についていえば、A型には有効、B型では有効性が低いという調査結果が出ています。

## リレンザについて

インフルエンザはのどにウィルスが付着して発症します。吸入することで直接患部に薬が届きます。薬は胃腸からは殆ど吸収されないため、全身への影響はありません。

## 登園・登校

熱が下がって丸2日たてば、登園・登校できます。